

日本火葬技術管理士会 アンケート結果(分類)

(作成:平成 27 年 1 月 20 日)

アンケートの目的：日本火葬技術管理士会発足 11 年を迎え、本会に対する会員の要望等を把握し会員のニーズに応えるとともに、本会の運営に活かすためこのアンケートを実施するものです。

アンケート実施期間：平成 26 年 11 月 20 日～12 月 10 日

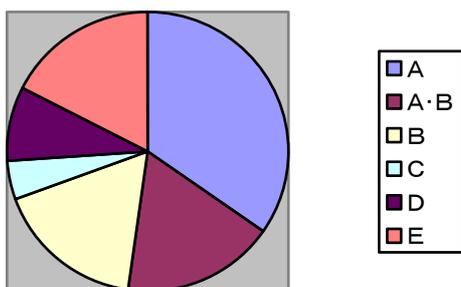
アンケート対象件数：87

アンケート回収件数：32

回収率：36.78%

分類＝A:管理士会に対する要望関係 8 B:火葬技術関係 4 C:火葬場関係
D:身分関係 E:その他

分類	A	A・B	B	C	D	E
全 32 中	8	4	4	1	2	4



- A-1 15 期火葬技術管理士正会員となりましたが、我が社ではまだ火葬業務に携わっていません。 斎苑協会より自立運営されるとのこと。 応援します。
- A-2 これまでの間、火葬技術の向上やその運営についてさまざまな情報提供をいただき、誠にありがとうございます。 今後の課題として、住民より火葬場本体のみならず関連施設の併設の要望が高まるものと考えておりますが、その観点から民業圧迫に係る対策や事例、民間資金の活用状況、営利企業との連携についての問題点と解決策等の情報提供をお願いしたいと思います。
- A-3 管理士会をより必要性のある会にし、全国で活躍できる会になってもらいたい。 災害等で協力できる会にしたい。
- A-4 特にありませんが、斎苑協会からの自立を目指しがんばってください。 微力ながら応援いたします。
- A-5 会員の拡大を図り全国組織として裾野を広げて欲しい。 会員拡大の目標を掲げるとよいのではないか。 将来、会として(法人として)人材を派遣したり、調査したりすることができるようになればよいと思います。
- A-6 葬祭業を離れて一年過ぎ、先日母を亡くしました。 看病は十分とは言えないまでもできることができたかなと思っています。 身内として火葬には 4 回喪主として立ち会いましたが、今回少々複雑な思いがありました。 火葬技術管理士として働いていた時の一期一会の思いが今更に思い起こされました。

火葬は、最後の別れの場です。 厳粛な気持ちで立ち会うことは、大切な人の道であると思います。 今後もよい環境を作っていただきますようお願いいたします。

A-7 お世話になっております。 私の意見といたしましては、今さらかもしれませんが火葬技術管理士1級の取得者は会員に入るシステムを作り、会員の増強を目指し、栗山会長を含め各地域ブロックの会員による情報の交換、ネットワークによる意見の交換ができ、技術・知識の向上、またトラブルの対応・相談等と、身近に気軽に交流を持てるグループ環境を作ってもらいたく思います。 ますますの発展を期待しております。

A-8 火葬情報交換会、講演等今後も計画され地域間の情報をさらに深めてください。 今後ますますのご発展を祈念申し上げます。 近況報告としては、病気で4ヶ月程入院したので現在無職です。(療養中)

A・B-1 火葬場に勤める方々との情報交換ができる会となって欲しいです。 現在、施設更新計画中の火葬場に勤めておりますが、新式の設備の情報が個人では得られないので更新後に不安があります。

A・B-2 特にありませんが、火葬技術等について教えてもらえる人(連絡先)があれば心強いかなと思っています。 火葬担当が二人でして二人ともまだ3年未満の経験ですので、これでよいのかと思いつつ行っています。

A・B-3 事故・トラブル例および対応策、新人従業員の育成および定着化の取り組み、委託先との関係構築、上記の情報共有化を

A・B-4 会の自立は大賛成です。 経費削減の一環として事務連絡等はEメールの活用をした方がよいと思います。 業界の最新情報や、火葬炉の最新機器情報等を共有し、知識の向上につなげたい。 また、業務上での労災(事故)事案等も共有し、防止対策につなげたい。 火葬場見学会の実施！ 会の社団法人化！ 技能講習会等の実施！ 栗山会長の施設見学レポート(ホームページ上) いつも楽しみにしています。

B-1 一般感染症による死亡者の受入れは、どのようにしたらよいのでしょうか。(服装等)

B-2 私は、松阪市斎場で、会社イーゼス(株)本社四日市です。 私は、火葬担当で日々がんばっています。 建物30年、機械30年ですから、いろいろな箇所から故障が出て、心配りながら作業を進めています。 以前の会社では、受入・収骨・火葬と体をフル回転しながらこなしていました。 今の斎場での作業は、火葬担当で作業をしています。 最近、火葬制御盤一部の故障が気になるようにならないよう説明するが、まだ大丈夫というような感覚です。

B-3 最近の火葬炉のサイズ、燃料、火葬時間、また棺の大きさ、材料等のトレンド等を詳しく知りたい。 日1回でもメルマガにして送ればよいのでは？

B-4 火葬業務を行うに当たっては、さまざまな「不測の事態」があることと思いますが、そうした情報を相互に共有できるような会報の発行をお願いしたいと思っています。 副葬品については、年々エスカレートしているように感じており、ごく最近では写真立てをガラスが入ったまま棺の中に入れており、溶

けて炉台に固着するので対応に困っております。

- C-1 火葬技術の向上はとても大切なことですが、単独世帯化が進み孤独死が増し、遺体保管冷蔵庫が不足の状態になってきています。保管建物を建設するには、その付近住民の皆様の反対の声がとても多いことが予想されます。火葬場内に保管設備をこれからは必要になってくるのではないかと考えています。
- D-1 日頃の皆様のご尽力には、とても感謝しています。定年の峠はすでに越え、そろそろ現役引退の話も出だした今日この頃です。老兵は消え去るのみか、と実感しています。
- D-2 総会の時は、お疲れ様でした。火葬場現業職員は、まだまだ被差別職業の対象です。少しでもその問題を改善できるように願います。そのためにも、先ず一般の方に仕事及び職員の実態を知ってもらうことが重要と思います。ホームページやマスコミを積極的に利用した広報活動の充実を期待いたします。
- E-1 毎度お世話になっております。現在のところ、まだ入会1年も満たないものですから、もう少し様子を見させてもらい確認して行き、今後できるだけご協力させていただきたいと思っています。
- E-2 あと一ヶ月で88歳になりますが、時々腰痛が発症するため、好きな登山も控え、庭の花づくりに専念しています。時々は、庭にネットを張ってゴルフの練習(アプローチとパット)をしています。会員である皆様のご健勝を祈ります。
- E-3 いつも大変お世話になっております。困りごとは、委託から指定管理になって監査が入るようになり委託金の減少と必要書類の増加等です。指定管理者となって4年になりますが、赤字が続いているのになかなか委託金も上げてもらえず交渉も難航しています。ビルメンの資格でも取得使用と考えています。
- E-4 ①神奈川県内における各施設の炉と耐用年数 ②1ヶ月ごと年間の炉の使用回数 ③動物の炉の使用と使用回数 etc の実際の現場での状況を(秘)で教えてもらいたい希望